MDHCだより NO. 70

H27. 4. 16

三河歯科衛生専門学校

平成２７年度の新たなスタート

教務部長　近　藤　保　子

日頃より、臨床実習指導者の皆様にはご指導・ご協力をいただき心より感謝いたしております。３年制教育も早６年目となり、現在、年間を通して臨床実習を実施しています。指導者の皆様には大変お世話になっております。

学校では４２名の新入生を迎え、３学年の総人数は１２０名です。毎日大変賑やかな声が教室から聞こえてきます。

さてご承知のとおり、４月１日に歯科衛生士法が改正されました。学校教育の中では、養成所の指定及び監督が、地域の自主性及び自立性を高めるため、国から愛知県へ移譲されました。また、歯科衛生士の業務に関しては、『歯科衛生士は、その業務を行うに当たっては、歯科医師その他の歯科医療関係者との緊密な連携を図り、適正な歯科医療の確保に努めなければならない。』との条文が新設されました。

歯科衛生士が誕生して６５年が経過をし、歯科衛生士の業務は、歯科衛生士を取り巻く環境に応じて変化してきており、今後においても高齢化の進展等をはじめとした環境に応じて行くものと思われます。

本校におきましても、時代の流れをつかみ、社会の中で役立つ歯科衛生士の養成に精一杯努力していきたいと思います。

指導者の皆様には、今後ともご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。

１．入学式

平成２７年度入学式が４月２日（木）に挙行されました。西三河七地区歯科医師会長、愛知県歯科衛生士会長をはじめ多くの保護者のご出席のもと、４２名の新しい学生生活がスタートしました。西三河７地区歯科医師会を代表して、碧南歯科医師会長の伊藤先生より、「歯科医療の世界は、大きな変革の中にある。口腔の健康と全身の健康の繋がりが注目され、治す医療から人々の生活習慣に深く関わり支える医療へと変化が求められている。生涯にわたり患者さんと関わっていく歯科衛生士の役割はますます重要だ。実のある学校生活を送ってほしい。」と励ましのお言葉を頂きました。

２．臨床実習から

１）臨床実習２期まとめ

３月１８日に臨床実習２期まとめ・引き継ぎを行いました。『２期まとめ』では、臨床実習前半を振り返り、学べたこと・反省点・３期の目標について一人ずつ発表を行いました。

臨床実習の感想　～抜粋～

『最初は不安も大きかったが、日にちを重ねるごとに出来ることも増えていった。後半には“今日は何が出来るようになるのだろうか”と毎日が楽しかった。』

『さまざまな患者さんと出会い、一人一人口腔状況が違う中で、いかにその方に適する指導をしていけるかと考えながら実習することができた。』

『夢の中でまで実習していた。大変ではあったが、褒められると嬉しくてもっと頑張ろうと思った。』

『どれだけ自分の知識がないか、その場しのぎの勉強をしてきたかを思い知った。３期では患者さんの口腔内をよく観察し、考え理解しながら実習をしていきたい。』

『優しく丁寧に指導していただき、充実していた。分からないことも何でも質問に答えてくださり、たくさんのことが身についた。』

臨床実習自己評価より

『到達目標は達成されましたか』

	１期	２期
予想以上	２．５％	７．６％
予定通り	４６．２％	４６．２％
あと少し	５１．３％	４６．２％
できなかった	０％	０％

『実習中は意欲的に学習しましたか』

	１期	２期
大変努力した	２７．５％	５３．８％
努力した	６２．５％	４６．２％
あまりしなかった	０％	０％

『知識は確実なものとなりましたか』

	１期	２期
大いに身についた	３５．０％	４８．７％
身についた	６５．０％	５１．３％
変化なし	０％	０％

意欲的に学習し、知識が確実に身についたと考えている学生の割合が１期より増えています。これもひとえに指導者の皆様のおかげと感謝いたします。今年度も引き続きよろしくお願いいたします。

２）臨床実習３期事前指導

４月３日に事前指導を行いました。３期到達目標の設定の他、臨床実習後半に向けての“決意のことば”を記入し、再度気持ちを引き締めました。

３．主な行事予定

・レクリエーション（ボーリング大会）　5／７（木）
・健康診断　6／４（木）

＜３年生＞

・保健所実習説明会　4／17（金）
・連尺小学校保健指導実習　5／14（木）